きらり☆

JAめまんべつ

謹賀新年

2023
1
No.917

〈年頭のご挨拶〉

新年を迎えて

女満別町農業協同組合
代表理事組合長　渡　邊　勝　美

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和5年の輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中の農協事業運営に対しましてご理解とご支援を賜りましたことに、役職員一同厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、昨冬の積雪は平年並みで、融雪も順調に進み、播種・定植作業においても遅れることなく開始されましたが、4月下旬から強風が連日吹き荒れ、てん菜の移植作業が中断される中、知床では観光船が転覆する痛ましい事故が発生しました。その気象は5月まで続き、初旬には霜や降雹がありました。

その後は、高めの気温で降水量は極めて少なく干ばつ気味となりましたが、6月は一転して降雨が多く日照不足で推移する中、中旬には2度目となる局地的な降雹があり、玉ねぎを中心に被害が発生し、その他の農作物の生育も停滞しました。8月以降は概ね天候に恵まれ穏やかに推移しましたが、10月に入ると数日おきに降雨が繰り返され、てん菜の収穫など一部で遅れが見られましたが、11月の長芋の収穫完了を迎えるまで、自然災害も無く無事に終えることができました。

しかし、道外においては、線状降水帯という言葉が繰り返し報道され、7月から9月にかけて日本各地で集中豪雨が頻発し、大型河川の氾濫や土砂崩れにより、多くの人命が失われ、農業にも甚大な被害が発生した年でした。

作柄では、小麦は開花期からの気温と日照不足が影響し、一昨年の豊作には及ばず、秋まき小麦・春まき小麦ともに平年並みの収穫量となりました。もち米も同様の気象経過が稔実歩合に影響し平年並みとなりました。

馬鈴薯と玉ねぎは、高温干ばつに見舞われた一昨年を取り返し、全般的に平年を上回る収穫量と品質が確保されました。

豆類では、大正金時などインゲン豆はここ数年続いた開花期の高温に晒されることなく経過し、平年を上回る収穫量が確保され、小豆においても同様となりました。大豆は例年より早く収穫が開始されましたが、品質も良く安定した収穫量が確保されました。てん菜は、収穫開始前の長雨が影響し、一部では、収穫の遅れや糖分の低下がみられましたが、11月上旬には大方の収穫を終え、平年並みが確保されました。

黒毛素牛は、コロナ禍による消費の停滞から枝肉価格が不透明な状況で推移しましたが、販売頭数・価格とも昨年並みを維持することができました。生乳は、極めて厳しい生産環境の中ではありましたが、安定して良質乳が生産され、目標数量の範囲内での乳量が確保されました。

農協における設備投資では、オホーツクビーンズファクトリーの施設整備に向けた土地の取得や馬鈴薯保管庫の冷蔵設備の改修、作業機械の更新など生産関連施設の整備を中心に進めて参りました。

農業・農協を取り巻く情勢では、ロシアによるウクライナ侵攻、円安の進展等により、食料価格や燃料、肥料・飼料等の資材価格が著しく高騰し、農業経営に与える影響は避けられない状況となりました。また、甘味資源作物対策では、砂糖需要の減少によるてん菜糖の在庫数量増加や、糖価調整制度の収支悪化から大幅な作付け抑制が求められ、適正な輪作体系確保を始め、北海道農業を根幹から揺るがす事態となっています。

さらには、本年度に行われる経営所得安定対策の見直し案では、非常に厳しい条件を迫られ、今後の農家所得の確保に向けて大きな課題と不安が生じています。

これらの事から、JAグループが一丸となり、食料自給率向上に向けた生産基盤体制確立や生産資材価格高騰対策など政府に対し食料安全保障対策の強化・拡充を強く求めて参ります。

水田活用の直接支払交付金の見直しについても、これまで国の政策に則って生産活動を行ってきた農業者が、今後とも安心して農業を続けられる仕組みとするよう強く求めていかなければなりません。

このように、農業・農協を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、令和5年度は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となり、議決された将来ビジョンである「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に向け取り組むとともに、当農協は、新たに第十次中期三カ年計画の始まりの年となります。この先も女満別農業が発展し続け、組合員皆様が豊かな将来像を描けるよう、ともに手を取り合い、役職員一丸となって取り組んで参ります。

結びに本年が好天に恵まれ、豊穣の秋を迎えられますこと、新型コロナウイルスが一日も早い終息を迎え平常を取り戻すこと、そして、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

迎　春

女満別町農業協同組合

代表理事組合長	渡邊　勝美
専務理事	髙橋　肇
職務代理理事	岡田　貴憲
理事	安達　直行
〃	福田　英信
〃	大隅　貴博
〃	岡内　篤志
〃（参事）	前田　英典
代表監事	小松　英二
常勤監事	樫尾　茂
管理部長	山田　大
金融部長	髙橋　正春
営農部長	伊藤　雅弘
経済部長	遠野　祐一
購買部長	北村　洋
監査室長	坂部　幸次
金融次長	石塚　宏樹
外職員一同	

令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長　小野寺　俊　幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありましたが、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウィルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、新型コロナウィルスの一日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

女満別町農協青年部
部　長　渡辺将太
副部長　涌嶋裕司
書記長　近藤修斗

女満別町農協女性部
部　長　田中秀美
副部長　大橋直美
〃　辻　亜矢子

大空町女満別農民協議会
執行委員長　髙橋敬義
副委員長　古田昭治
書記長　鈴木大介

ホクレン農業協同組合連合会
女満別種子工場
工場長　小山正晃
外職員一同

ホクレン中斜里製糖工場
網走原料所
所　長　田保史明
所長代理　小木戸勇介
職　員　森永隼史

年頭のご挨拶

網走農業改良普及センター
美幌支所
支所長　遠藤良恵

新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を、ご家族の皆さま、地域の皆さまと共にお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、普及センターの活動にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年を振り返りましても、新型コロナウィルス感染症対策を意識した中での日々の暮らしと生産活動が続き、地域の交流活動や研修や学習の機会は、自重せざるを得ないことが多かったように思います。

また、平和を信じ続けたい思いとは裏腹に、ロシアによるウクライナ侵攻が発生し、国際情勢下での変化が、農業経営を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしている昨今です。

さて、昨年の気象経過を振り返りますと、越冬期間の土壌凍結は最大31cmと近年の中では浅い深度でした。融雪期は、平年よりやや遅かったものの、耕起はじめから播種移植時期にかけては、高温少雨で推移しました。

4月27日には、強風によりてんさいに被害が発生しました。6月初旬は低温となり、6月18日～20日には、管内で広く降雹や集中豪雨が発生し、女満別においてもたまねぎのほ場で茎葉の折損、倒伏が発生しました。その後8月まで多雨傾向が続きましたが、10月15日までの農耕期間を通じて、気温は平年並みに推移しました。

各作物の収量は、水稲・秋まき小麦・春まき小麦・豆類が総じて平年並でした。ばれいしょは平年に対し増収となり、てんさいも糖分は平年並ながら増収となりました。園芸作物では、春先の好天からアスパラガス・たまねぎ・ながいもは増収、セルリーは平年並、ブロッコリーはやや減収となりました。

作物生産には当然気象要因が大きく関わってきますが、近年の気象災害を踏まえても気象に左右されない、栽培技術の組み立て、経験則と判断力が大切となっています。

地域の栽培技術は、すでに構築されている基本技術の上に、新たな知見による地域実証や検討を付加し、更なる生産性の向上につなげることとして、全ては「人」の手により定着していきます。

普及センターの活動は、地域に即した技術の習得や構築にむけて、あるいは地域の活性化や発展のために、地域の「人」を支援することが一番の目的です。

昨年、農協の全面的な理解協力を得て、若手農業者（就農から5年程度の農業者）と関係機関の若手職員を対象とした学習活動「農村ゼミナール」を、数十年ぶりに立ち上げました。あえて秋スタートとして、秋まき小麦のは種後から今年の収穫までを確認できる流れを組み、他の主要な作物も随時学習対象として9回の講座を企画していきます。

この若手農業者、若手の関係機関職員、普及センターの若手職員ら、将来の地域農業を担う「人」のネットワークを牽引することも大きな使命と考えています。

「卯年」。芽を出した植物が成長して茎や葉が目に見えて大きく成長する年といわれています。また、うさぎは飛び跳ねることから豊穣、子孫繁栄のシンボルともいわれています。

農村ゼミナールは今、種を播きだしたところです。作物のひとつひとつが芽を出し茎葉が大きく育つように、若手の成長と飛躍を願い、地域農業振興に即しての支援を重ねていきたいと思います。

結びとなりますが、本年が輝かしい年となるとともに、皆さまの益々のご多幸とご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

女満別町稲作生産組合鏡餅寄贈

年末の恒例行事となっています女満別町稲作生産組合（組合長　山谷順治さん）から大空町とＪＡへの鏡餅の贈呈が12月23日(金)に行われました。

鏡餅は、女満別産の「きたゆきもち」３升を使い作られた、とても大きなものです。

贈呈された鏡餅は、大空町役場では１階ロビーに、ＪＡでは組合長室に飾った後に、金融窓口にて飾らさせて頂きました。

［農産課　中嶋］

青年部食育活動　番外編

11月28日(月)、大空町認定子ども園めまんべつにて、園児と青年部で一緒に育て収穫した野菜を使用したカレーライスが提供されました。おいしく食べていただけたようで良かったです。

当初は、青年部と園児が一緒にカレーライスを作る予定でしたが、コロナウィルス感染拡大の影響により行うことができませんでした。来年度は一緒につくることができたらいいなと思います。また、写真は園の先生より頂きました。ありがとうございました。

［営農課　宍戸］

女性部ボランティア活動

12月6日(火)に女性部三役がJAめまんべつ女性部を代表し、ボランティア活動を行いました。

町内の高齢者施設の入所者と職員の方々に励ましの言葉を添えて、めまんべつ産加工食品の配布と、今年度は新たに女性部部員から収集したタオルも配布しました。

ご協力頂いた関係者の皆様、ありがとうございました。

※事業実施にあたり令和4年度歳末たすけあい義援金が配分されています。

［営農課　石澤］

地区懇談会が開催されました

12月5～6日の日程で地区懇談会が開催されました。

クミカン精算及び令和5年度営農計画検討会、第10次中期事業計画案他について説明の後、懇談を行いました。各地区とも様々な質問や意見などが出されました。地区懇談会で出た貴重なご意見等は、今後の農協運営の参考として参ります。

［管理課　石川］

農業用資材展示即売会の開催

令和4年12月8日(木)～9日(金)、農協資材店舗倉庫にて農業用資材の展示即売会を開催いたしました。今回の展示会では、1日目限定で農業用ドローンを展示しました。その他にも電気工具やタイヤチェーン等幅広く展示しました。また、鈴庵様（おやき・たこ焼きの販売）のご協力もあり、多くの組合員の皆様にご来場して頂き、展示会場は賑わいを見せていました。

今後も、新型コロナウイルスの影響を鑑みながら、定期的な開催を実施し、組合員の皆様のニーズに応えられる商品を取り揃えてまいります。ご来店して頂き誠にありがとうございました。

［資材課　藤野木］

4メーカー「新車全車種対象」特別企画

JA 春の新車フェア

銘柄はトヨタ・スズキ・スバル・三菱 が対象!

2023.1.1→3.31 ご契約分まで

●業務用車輌は、対象外となります。ご了承ください。

TOYOTA

TOYOTA SIENTA　TOYOTA NOAH

SUZUKI

SUZUKI Spacia BASE　SUZUKI Lapin LC

SUBARU

SUBARU FORESTER　SUBARU LEGACY OUTBACK

MITSUBISHI

MITSUBISHI OUTLANDER PHEV　MITSUBISHI eK X SPACE

乗用車をご成約でもれなくいずれかおひとつプレゼント!

※軽トラック・軽バンは除く

A present ホクレンSSポイント 30,000pt進呈!

給油所でいろいろ買える!

貯まったポイントは、1ポイント1円として店頭燃料油や給油所取扱商品のご購入にご利用いただけます。
●一部ご利用いただけない店舗及び商品もございます。

B present ホクレン商品詰め合わせ&カタログギフトセット

美味しいホクレン商品とカタログギフトのお得なセットをお届けいたします。

詰め合わせ内容

●北海道産ゆめぴりか（精米）5kg×1袋
●ホクレン北海道米パエリア 340g×6袋
●北海道こめ油 600g×6本
●氷溶き不要の片栗粉 100g×3袋
●上白糖 1kg×1袋
●北海道産きたほなみ使用うどん 230g×5袋
●北海道産きたほなみ使用そうめん 220g×5袋
●ホクレンセレクトライラック（8,000円相当）×1冊
●ホクレンセレクトラベンダー（5,000円相当）×1冊
●北の海と大地のギフト（5,000円相当）×1冊

※商品は予告なく変更する場合もございます。

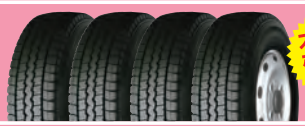
C present アイリスオーヤマ 電気圧力鍋 3L 液晶タイプ KPC-MA3-B

圧力調理でいつもの調理時間を短縮、本格料理も簡単に調理できる電気圧力鍋です。108種類の自動メニュー搭載でボタン1つで簡単に作れます。

D present シャープ プラズマクラスタードライヤー IB-RP9-C（カラー：ベージュ）

風のチカラで早乾・美髪ケア、髪をいたわりツヤアップも。

軽トラック・軽バンをご成約の方には



スチールホイール付き

スタッドレスタイヤ4本プレゼント!

※商品写真はイメージです。※成約記念品は事情により商品手配の遅れや代替品に変更させていただく場合がございますので、予めご了承願います。

お車のことはJAグループにおまかせください!

JA

つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に
ホクレン

知っておきたいマナー集

初詣

和文化講師　滝井ひかる

新しい年が始まります。その年に初めて氏神様にお参りするのが「初詣」です。本来は、大みそかの日没をその年の終わりとしたことから、初詣は大みそかの夜から元日にかけてするものでした。

神社に着いたら、一礼をして鳥居をくぐります。参道の中央は神様が通るといわれているため、避けて歩きましょう。

次に手水舎（ちょうずや）で心身を清めます。まず右手に持ったひしゃくでたっぷりと水をすくい、左手に少しかけます。左手にひしゃくを持ち替えて、右手にも少しかけます。また右手にひしゃくを持ち替えて、左の手のひらに水をためて、口をすすぎます。その左手に水をかけて清めたら、両手でひしゃくの柄を立てるようにして持ち、残った水で柄をつたうようにして洗い流します。手を拭くものをあらかじめ用意しておきましょう。

お参りのときは帽子や手袋を外します。一礼の後に鈴を鳴らして穢（けが）れをはらい、おさい銭を入れます。続けて2回礼をします。両手を合わせて、右手を少し手前に引き、2回かしわ手を打ちます。そこで自分の名前（や住所）、今年成就したいことがあれば、そのために頑張っていることを神様へお知らせして、感謝の気持ちを込めて祈ります。「神頼み」という言葉がありますが、神様には願い事をするというよりも、誓いを立てて見守っていただく、という考えでいましょう。最後に深く一礼します。帰るときも鳥居をくぐったら振り返って一礼します。

喪中の初詣は宗派、地域によって捉え方が異なります。神道では死を穢れと考えるため、おめでたい初詣は控える、忌中（四十九日まで）を過ぎていればよいなど、各ご家庭のしきたりに沿ってください。ちなみに、お寺への初詣は喪中でも足を運んでよいとされています。

地域によって「松の内」を7日、または15日までとしますが、初詣は松の内に済ませ、新しい一年をスタートしましょう。

ヘルス&ビューティー

飲酒習慣と美容

健康科学アドバイザー　福田　千晶

「健康のためにも美容のためにもお酒は控えた方が良いかなぁ」と思いながら飲酒が習慣になっている人は多いでしょう。

少量の飲酒はリラックスしたり、料理がおいしく感じるなどメリットがあります。しかし、アルコールに含まれるカロリーは缶ビール（350ml）1本または日本酒1・4合、ワイン1合で約140kcalになります。140kcalは、体重や速度にもよりますがジョギングを20～30分程度しないと消費できません。消費し切れないエネルギーは体の脂肪になりますから、飲酒習慣により太って体形が変わるのも納得です。

アルコールには血糖値を上げ、食欲を高進する作用があります。脳内の満腹を感じる部位がまひして、満腹でも食べたくなります。飲酒によって「つい食べ過ぎる」状態となり、太る原因になるのです。体形変化は健康や美容にも影響します。

体内でアルコールが分解されるときに、肌を美しく維持するために必要なビタミンB群やビタミンCが消費されます。そのため飲酒の習慣がある人の体内ではビタミンB群やビタミンCが不足しがちで、美肌を維持できなくなります。

また飲酒によりアルコールの利尿作用で、体内の水分がいつもより多く排せつされます。液体の酒類を飲んでも体内は水分不足となり、肌も水分が足りず乾燥し、肌荒れやしわの原因になります。飲酒、特に過量の飲酒は体形にも肌にも影響を及ぼすのです。

酒類との付き合い方として、「飲み過ぎない」「野菜など低カロリーのものを食べながら飲む」「飲んだら食べ過ぎない」「飲酒時は水分補給も忘れない」を厳守しましょう。酒類をおいしく飲み、会話を楽しんだりリラックスしたりすることは健康にもメリットがあります。多過ぎない量のお酒をゆっくり味わう、そんな飲み方を楽しみたいですね。

知りタイガーのJA虎の巻

知りタイガーのJA虎の巻

第29回
JA全国大会決議
JAグループの実践

［ 今回のテーマ ］

JAグループがすすめる「国民理解の醸成」って、具体的にどういった取り組みなの？

私たちが生きていくうえで欠かせない「食」と、それを生産する「農」を未来につなぐため、その大切さについて国民全体で理解を深めていただくための取り組みです。

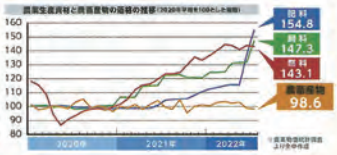
ロシアによるウクライナ侵攻等による影響で食料価格が世界的に上がったことで、食料の約6割を外国に頼ることの危うさが浮き彫りになりました。加えて、肥料や家畜のエサ、燃料など、農業生産に欠かせない資材の価格上昇が、生産現場に打撃を与えています。

こうした課題に対しJAグループは、『国』民が必要として『消』費する食料はなるべく『国』内で生『産』する『国消国産』という考え方の意義や、農畜産物を外的環境もふまえた適正な価格で販売することの重要性について、分かりやすい情報発信に取り組んでいます。

※2021年、カロリーベース

動画　林修先生のミニレッスン動画
みんなの食料安全保障（約7分）

農畜産物は値上げしにくい



JAグループサポーターの林修先生が、「国消国産」の意義や農畜産物の適正な価格形成の重要性について、分かりやすく解説する動画です。

耕そう、大地と地域のみらい。

12月５日開催 北見黒毛和牛 市場成績

（価格　円）

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	696,007	811,900	761,852	824,450
	出場頭数	199	215	28	26
	成立頭数	184	210	27	26
雌牛	平均価格	588,443	681,928	622,450	695,139
	出場頭数	148	132	23	18
	成立頭数	135	122	22	18

※価格は1頭平均・税込価格

きらり12月号の誤りについて

12月号に掲載致しました「まちがいさがし」の番号表記絵が11月号のままとなっておりましたのでお詫び致します。

1月号にて、訂正したものを掲載しておりますので、折り込みの応募用紙にてご解答をお願い致します。

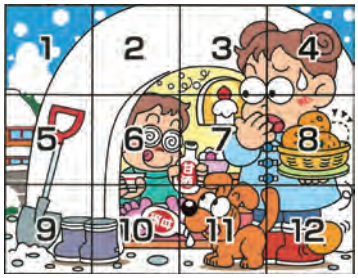
編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年も「きらり☆彡」をご愛読よろしくお願い申し上げます。今年はうさぎ年です。うさぎの耳は福を集めると言われてます。本年はみなさまにとって、ご多幸がありますことと、うさぎのようにぴょんぴょん拍子で何事もうまくいく年になりますようお祈り申し上げます。

ＪＡめまんべつ　営農課

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分が５カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。

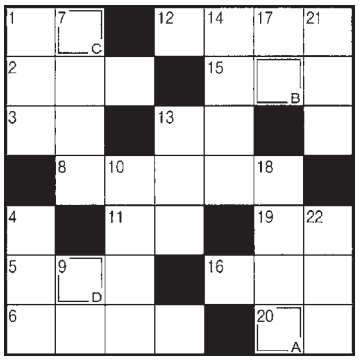


応募要項

正解者の中から抽選で２名の方に景品を差し上げます。
締め切りは１月20日（金）、ＪＡ正面玄関の応募箱に投函するかFAXにて応募下さい。FAX番号は応募用紙に記載しています。

クロスワードパズル

二重マスの文字をＡ～Ｅの順次並べてできる言葉は何でしょうか？



ヨコのカギ

1　正月に飲む薬酒。お――気分がなかなか抜けない
2　髪の毛の渦巻き
3　エッフェル塔がある都市
5　練り物やダイコンを煮込んで作ります
6　自分より後に生まれた人はみんなこれ
8　食事の管理や指導を行います
11　昨年はナスの――がとても良かった
12　太鼓や木琴やトライアングルなどのこと
13　毛筆でしたためることも
15　大学入学共通テストは国公立大学だけではなく――大学も利用しています
16　計画のこと。お得な宿泊――
19　京都・三十三間堂の通し矢で新成人が引きます
20　――、ニタカ、三ナスビ

タテのカギ

1　初詣で、受験を控える子の難関――を祈願した
4　2つで1組の――茶わん
7　客のためにワインを選びます
9　師匠の下で学びます
10　親から子へ受け継がれます
13　――・中期・末期
14　年賀状によく書かれる2文字の熟語
17　湖に張った氷に穴を開けて楽しむこともあります
18　登山やキャンプで使う寝袋
21　コンコンと鳴く動物
22　警察は原則として――不介入です

たくさんの応募お待ちしてま～す!!

応募要項

正解者の中から抽選で２名の方に景品を差し上げます。
締め切りは１月20日（金）、ＪＡ正面玄関の応募箱に投函するかFAXにて応募下さい。FAX番号は応募用紙に記載しています。

きらり☆

JAめまんべつ

発行／女満別町農業協同組合
〒099-2324 網走郡大空町女満別西4条5丁目1番27号 TEL 0152-74-2131・FAX 0152-74-3344
編集／営農部営農課　印刷／有限会社 サンケイプリント社